

慢性腎不全モデル

手術基本情報

- 系統：ラット Crl:CD(SD)、マウス Crl:CD1(ICR)・C57BL/6J
- 性別：雄・雌
- 週齢：8週齢(1次手術：6週齢、2次手術：7週齢)
- 手術時間：1次手術：10-12分、2次手術：5-7分
- 術後観察期間：7日間
- 微生物グレード：ジャクソンラボラトリージャパン SPF項目
- 麻酔薬：ケタミン・キシラジン混合麻酔薬
- 鎮痛剤：ブプレノルフィン ラット0.01-0.05mg/kg、マウス0.05-0.1mg/kg S.C.手術当日のみ
カルプロフェン 5mg/kg S.C. SID 手術当日から術後2日
- 抗生物質：投与なし(必要に応じて投与)

処置概要

1. 体重測定及び一般症状観察を実施後、ケタミン・キシラジン混合麻酔薬を腹腔内に投与する。
2. 背部を除毛し、イソジン液及び70%エタノール液を用いて術野を消毒する。
3. 背部皮膚を正中切開後、左側筋層を切開する。
4. 腹側から腎臓を圧迫しながら露出、腎動静脈を一括してクレンメを用いて血流を遮断、腎臓を部分切除する。
5. 腎臓を脱血後、生体用アロンアルファにて腎臓切断面の接着、乾燥の確認後、縫合糸にて筋層を縫合する。
6. クリップを用いて背部術創を縫合する(1次手術)。
7. 1次手術の1週間後、腎動静脈結紮後、右腎を全摘出する(2次手術)。操作は1次手術に準拠する。

※本書式に記載された術式は、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社手術グループ手順書「ラット5/6腎臓摘出」(承認No.840)、「マウス5/6腎臓摘出」(承認No.85)の内容に準ずる。

手術の精度に関する事項

5/6腎臓摘出の施術は、左腎臓の長径をノギスで測定を行い、腎盂を切除しないよう2/3の切除量を決定しています。

病態の進行につきましては、論文情報等を参考にさせていただき、ご依頼をご検討ください。また、人為的、外科的に腎不全を惹起するため、個体間のバラツキが多く見られます。個体によっては回復性腎肥大に伴い、病態進行の遅れ、また進行しない場合もございます。納入後は、各個体の血清パラメーター、尿中蛋白量などの個体毎の病態確認をしてください。

動物の取扱いについて

納入してしばらくは腎切除面の治癒が不完全で、動物の保定方法によっては、腹腔内で出血する場合があります。保定時の腹部圧迫には十分ご注意くださいようお願いいたします。

配送情報

- 輸送箱：プラスチッククレート
- 梱包形態：ラット1-4匹/クレート、マウス1-8匹/クレート



お問い合わせ

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F
TEL: 045(474)9350 Email: ask@jax.or.jp